

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		守谷駅前親子ふれあいルーム運営管理事業		担当課 児童福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 平成27年度～
	施策	子育て支援の充実		種別 任意的事務
	基本事業	子育て不安の解消と交流の場の提供		市民協働 事業協力
予算科目コード		01-030205-03 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として、平成20年度に南北児童センターが開館したが、子育て世帯が増加傾向にある守谷駅周辺地区に児童施設がないことから、平成27年10月、守谷駅東口に立地するアワーズもりやに、利用対象者を小学生までとする児童館として開館した（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金活用）。	・運営方法 運営業務委託（アクティオ(株)） ・委託期間 平成27年度～29年度 ・児童館業務 広場事業（子育てに関する情報交換・相談の場）、地域活動支援（子育て支援団体の支援）、異世代交流事業（地域高齢者及びボランティアとの交流の場）、育児相談事業・維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理 ※施設・設備の保守点検、修繕等、管理全般は市が対応。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
0～12歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場や保護者同士の交流の場、子育てに関する情報を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育て支援を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
子育てに関する支援を受ける機会や、知人友人との相談や情報交換ができる場を提供し、保護者の不安解消や精神的負担の軽減を目指す。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
地域や利用者のニーズを反映させた運営となるよう運営委員会を立ち上げ、運営内容に関する協議を行う。	・平成28年6月 運営委員会設置、第1回運営委員会開催 ・平成28年7月 愛称決定 ・平成29年2月 第2回運営委員会開催

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
0～12歳までの施設利用者数（人）	0.00	4,438.00	8,684.00	8,600.00	8,900.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	運営委員会を年2回開催し、委員から事業内容や協力団体について助言を受け、地域との協力体制を構築しつつあり、地域の子どもの居場所として定着しつつある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 □ 維持 ■ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	運営委員が属する地域団体等との連携を強化し、事業協力をいただけるような体制整備をすることで、地域全体で子どもを見守る気運の醸成につなげていく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	3,051	16,721	17,186	17,200
	国・県支出金	0	0	5,544	5,544	5,544
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	3,051	11,177	11,642	11,656
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	80.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	328	0	0
トータルコスト		0	3,051	17,049	17,186	17,200

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		地域子育て支援センター運営事業	担当課	児童福祉課・地域子育て支援センター
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成19年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	任意的事務
	基本事業	子育て不安の解消と交流の場の提供	市民協働	事業協力
予算科目コード		01-030202-15 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
少子化や育児環境の変化に伴う親の孤立化などにより子育てへの負担感が大きくなっており、子育て家庭を支える取組として、平成6年に小規模型子育て支援センター事業「夢っ子ひろば」を土塔中央保育所に開設した。その後、地域における子育て支援の充実を図るため、平成19年10月に野木崎保育所を改修し、守谷市地域子育て支援センターとして、子育て相談やサークルの育成等の事業を実施し、子育て支援の中心的な役割を担っている。	1 広場事業及び園庭開放（広場事業の開催：夢っ子ひろば、出前広場） 2 子育てサークル支援（交流会、部屋の貸出、おもちゃ貸出、サークル活動相談） 3 育児相談（来館相談、電話、メール、にこにこ相談、ほかほか子育て教室、保健センターでの育児相談（1歳6か月児健診）の実施） 4 子育て講座（健康保健講習、食育関係講座、安全に関する講習、親子ふれあい講座） 5 イベント（夢っ子まつり、夢っ子コンサート、ようこそ守谷へなど） 6 次世代育成（学生の子育て体験） 7 地域交流及びボランティア育成（高齢者やボランティアサークルとの交流、ボランティア育成講座等） 8 情報発信（守谷市子育て支援センター会議開催、情報誌トライアングルブック発行、広報誌発行、ホームページ及びSNSでの情報発信等）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内在住の未就学児とその保護者を対象とし、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する場所を設置することにより、地域の子育て支援の充実を図るとともに、保護者の不安感の緩和と児童の健やかな育ちを支援する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
子育てに関する支援を受ける機会や、知人友人との相談や情報交換ができる場を提供し、保護者の不安解消や精神的負担の軽減を目指す。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
・双子の子どもと保護者限定のひろばの開催時間を、より来館しやすい時間（午後から午前）に変更する。 ・引き続き、センター事業の周知を行っていく。	・双子対象のひろばについて、3回開催した（該当施設となる小学校の工事）。 ・地域の異世代交流を図るため、イベント時に協力をしてもらい、双方から好評を得ることができた。 ・子育て支援施設がない西板戸井地区で出前広場を2回開催し、これまで子育て支援施設を利用していない親子が参加してくれた。おたより等ではなくこちらから出向いてPRしたことで親子でひろばを知り、楽しんでもらうことができた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
夢っ子ひろば、出前広場の開催回数（回）	726.00	756.00	784.00	784.00	790.00
講座の開催回数（回）	51.00	49.00	48.00	48.00	55.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	・ 友達が出来た、育児相談が出来て悩みが和らいだ等の声が聞かれ、育児不安の解消につながった。 ・ 西板戸井地区において、地域の力を借りて出前広場を開催し、普段子育て支援施設を利用していない親子へ利用推進することができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	・ 保健センターの健診時などに出向いてひろば事業の周知に努め、初めてでも行きやすい場所の紹介などをして利用推進を図っていく。 ・ 利用者に寄り添い、育児相談をしやすい場となるよう努め、育児不安の軽減につなげる。 ・ 子育ての孤立化を防ぐため、ひろば事業等へ参加したことのない親子に対する呼び掛けについて工夫が必要。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	15,660	16,482	16,409	18,407	18,407
	国・県支出金	4,968	4,968	4,968	5,202	5,202
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	164	165	165	210	210
	一般財源	10,528	11,349	11,276	12,995	12,995
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	5,463.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	22,398	0	0
トータルコスト		15,660	16,482	38,807	18,407	18,407

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		子育て支援情報発信事業		担当課 保健センター
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 平成28年度～
	施策	子育て支援の充実		種別 任意的事務
	基本事業	子育て不安の解消と交流の場の提供		市民協働
予算科目コード		01-040102- 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
総合戦略アンケートで、相談できる場所やサービス、子育てに役立つ講座、行政からの情報提供は認知度が低いという結果が出た。現在は、広報、ホームページ、冊子、窓口対応や紙媒体設置であり、情報提供の限界を感じていた。そこで、子育て世代の情報収集の一般的なツールであるモバイルサービスを活用して簡潔に見える化し、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援のための子育て情報発信の環境整備が必要となったため。	子育て情報モバイルサイトを開設し、 ①年齢別目的別に子育てに関する市全体の情報をホームページに繋げ、自分の知りたい情報がすぐに取り出せるようにする。 ②メール登録した方に、講座やイベント情報、健診など市や関係機関の情報を年齢ごとにお知らせメールを発信する。 ③予防接種の個人スケジュール管理と接種時期に個人メールを配信する。 ④妊娠期・乳幼児期の年齢に応じた個別の記事（育児方法や成長過程など）を定期的に個人に配信する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
妊婦及び0歳から中学生までの保護者に対し、子育て支援の情報発信を行う。妊娠・出産から子育て期まで情報発信の環境を整え、守谷市の子育てサービスに見える化し、支援サービスを利用しやすくすることで、子育てに関する不安の解消や孤立化防止を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
子育てに関する支援を受ける機会や、知人友人との相談や情報交換ができる場を提供し、保護者の不安解消や精神的負担の軽減を目指す。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）		具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）		
次年度のコストの方向性（→その理由）		
☐増加 ☐維持 ☐削減		

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
	子育て情報発信のための導入準備。業者決定、関係機関との調整、メールやメルマガ記事の作成。平成29年4月開始に向けた、利用者への周知活動の実施。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
もりや子育てナビ登録者数（人）	0.00	0.00	0.00	900.00	2,100.00
この地域で子育てをしたいと思う親の割合 （健やか親子21アンケートより）（％）	0.00	95.70	96.10	95.00	95.00
成果の動向（→その理由）					
☐向上 ☐横ばい ☐低下	平成29年4月開始からのもりや子育てナビ登録者数を増やすことで成果を向上させる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐拡大 ☐縮小 ☒維持 ☐改善・効率化 ☐統合 ☐廃止・終了	成果向上のため、周知活動に努める。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	999	1,115	1,115
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	999	1,115	1,115
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	999	1,115	1,115